

「北九州市生物多様性戦略」の改訂 (次期戦略の策定)について

北九州市 環境局 環境監視部 環境科学研究所

目次

I 環境審議会(12月15日)での審議

II 市民意見募集

- ・募集概要
- ・主な意見
- ・意見への対応

III 市議会常任委員会での報告

IV 意見を踏まえた次期戦略(最終案)の作成

I 環境審議会(12月15日)での審議

① 審議内容

→ 環境審議会での議論いただき、次期戦略案を作成した。

◆ 戦略の概要

名称: 第2次北九州市生物多様性戦略(2015年度-2024年度)

基本理念: 都市と自然との共生

～豊かな自然の恵みを活用し 自然と共生するまち～

特徴: 「北九州市らしい戦略」とするため、本市の自然環境の

特徴や自然の利活用について具体的な事例を記載

生物多様性の重要性と市民の暮らしとの関わりをわかり

やすく記載

戦略期間: 10年間(2015年度-2024年度)

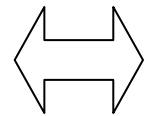
構成: 5部+資料編

I 環境審議会(12月15日)での審議

◆次期戦略案の構成(5部+資料編)

第1部 生物多様性を巡る現状

- 1 本市の生物多様性
- 2 本市の生物多様性がもたらす様々な恵み



- 3 本市の生物多様性の4つの危機

4 本市の生物多様性に関する取り組み

第2部 本戦略の基本理念と基本目標

【基本理念】
都市と自然との共生
～豊かな自然の恵みを活用し
自然と共生するまち～

第3部 戦略を推進するための本市の施策

- 目標達成に向けた施策(全59施策)
- 自然ネット参加団体の事例紹介(19団体22事例)

第4部 戦略の推進に向けた数値目標

基本目標に対し、代表的な数値目標を設定

第5部 戦略推進のために

「自然ネットによる進行管理」、「主体(市民、NPO等、事業者、行政)ごとの役割」

【資料編】生物多様性戦略に関する国内外の取り組み

I 環境審議会(12月15日)での審議

② 主な意見

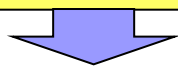
- 1 「北九州市らしさ」と次世代教育の観点から幼児教育に関する取り組みを記載する必要がある
- 2 地球規模の市民環境力という表現があるが、地球規模をどのように考えるかを示す必要がある
- 3 生物多様性戦略の推進にあたって他都市との連携をどのように考えるかを示す必要がある
- 4 数値目標を増やすべきではないか

※ 環境審議会では戦略案の作成及び市民意見の募集の進め方については、会長一任として承認された。

I 環境審議会(12月15日)での審議

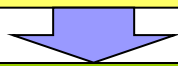
③意見への対応

1 「北九州市らしさ」と次世代教育の観点から幼児教育に関する取り組みを記載する必要がある



1 幼児教育に関する取り組みについては、「基本目標2」の「考え方」に、次世代を担う幼児期からの環境学習の機会を提供している旨を記述

2 地球規模の市民環境力という表現があるが、地球規模をどのように考えるかを示す必要がある



2 地球規模については、「基本目標2」の「考え方」に、響灘ビオトープや環境ミュージアム等の環境学習施設で環境を学ぶことが出来ること、持続可能な開発のための教育(ESD)の取り組みなどを通じて、広い視野を持って行動できる高い市民環境力を養うよう努める旨を記述



響灘ビオトープで学ぶ園児



環境ミュージアムで学ぶ園児



ESDの取り組みの一例
(大学生による清掃活動)

I 環境審議会（12月15日）での審議

③意見への対応

3 生物多様性戦略の推進にあたって他都市との連携をどのように考えるかを示す必要がある

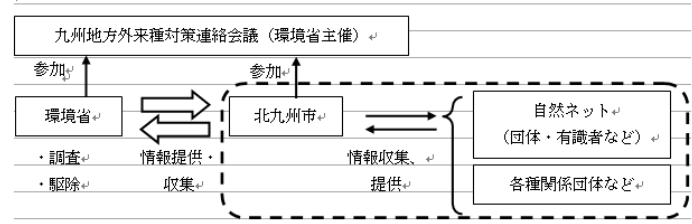


3 他都市との連携については、本戦略の対象区域は北九州市全域を基本としながら、自然環境のつながりの観点から、広域的な視野をもって生物多様性に関する取り組みを推進する旨を記述

4 数値目標を増やすべきではないか



4 「戦略の推進に向けた数値目標」に「北九州市まち・ひと・しごと創成総合戦略」に掲載されている、自然環境体感ツアーの参加人数を追加



広域的な連携体制の例
(特定外来生物対策に係る連絡会議への参画)



自然環境体感ツアーのイメージ

Ⅱ 市民意見募集（募集概要）

（1）市民意見募集について

（概要）

募集期間：平成28年1月8日～平成28年1月29日（22日間）

閲覧場所：①環境局環境科学研究所、②市民文化スポーツ局広聴課、③各区役所総務企画課、④各区役所出張所、⑤北九州市ホームページ

（2）市民意見募集結果

結果

意見提出者 17 人・団体 ， 提出意見数 57 件

（提出意見の内容）

- ・戦略全般に関する意見 14件
- ・第1部に関する意見 8件
- ・第2部に関する意見 5件
- ・第3部に関する意見 28件
- ・第4部に関する意見 2件



Ⅱ 市民意見募集(主な意見)

(3) 意見の概要

① 戦略全般に関する意見(計14件)

- ・ 「本市の事例を多用して具体的でわかりやすい」、「実効性の高い戦略である」など、第2次戦略(案)への賛意(4件)
- ・ 「第2次戦略をわかりやすく市民に広めてほしい」など、策定後の戦略の広報に関する意見(8件)
- ・ 現戦略を推進してきたなかで、特徴的な成果は何か(1件)
- ・ 第2次戦略(案)で特に重要な施策はあるか(1件)



中谷地区の取り組み
(漬物コンクール)



自然ネットの取り組み
(自然講演会)



響灘ビオトープの開園
(来園した園児たち)

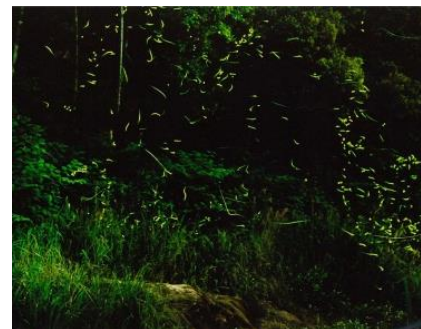
Ⅱ 市民意見募集(主な意見)

② 第1部に関する意見(計8件)

- ・ 「1 本市の生物多様性」における記載の追加・修正に関する意見(4件)
- ・ 「3 本市の生物多様性の4つの危機」における記載の追加・修正に関する意見(2件)
- ・ メダカやホタルで遺伝子の多様性について学ぶことができる(1件)
- ・ 自然環境サポーターの活用に関する要望(1件)



響灘ビオトープのメダカ



黒川のホタル

③ 第2部に関する意見(計5件)

- ・ 自然栽培従事者から見た5つの基本目標の感想(5件)

Ⅱ 市民意見募集(主な意見)

④ 第3部に関する意見(計28件)

ア 基本目標1に関する意見(計2件)

- ・ 子供たちが自然と触れ合う機会を増やしてほしい(1件)
- ・ 「その他の市民啓発事業」におけるいのちのたび博物館の取り組みの追加・修正に関する意見(1件)

イ 基本目標2に関する意見(計3件)

- ・ 子どもに自然環境教育を行う大人(学校の先生など、)への教育の強化に関する意見(2件)
- ・ 「ほたるのふるさとづくり」におけるホタルを通じた国際交流の追加・修正に関する意見(1件)



環境体験科の様子(山田緑地)



環境体験科の様子(響灘ビオトープ)

Ⅱ 市民意見募集(主な意見)

ウ 基本目標3に関する意見(計12件)

- ・ 特定外来生物等の普及啓発や対策に関する意見(6件)
- ・ 「曽根干潟の適切な保全の推進」や「曽根干潟が国などから指定、価値付けされている旨の記載の追加・修正」など曽根干潟に関する意見(4件)
- ・ 現在の本市の自然環境を維持するよう適切に保全すべき(1件)
- ・ 森林、土壌の重要性及び貝の浄化作用の重要性の啓発や、両生類や昆虫を地域に増やす取り組みの強化に関する要望(1件)



特定外来生物の例
(オオキンケイギク)



曽根干潟

Ⅱ 市民意見募集(主な意見)

エ 基本目標4に関する意見(計5件)

- ・ 「ビオトープなどの自然共生型地域づくり」における山田緑地の記載追加・修正に関する意見(1件)
- ・ 多自然型川づくりの推進に関する要望(1件)
- ・ 「人と野鳥が共存する環境づくり」における山田緑地と響灘ビオトープの記載追加・修正に関する意見(1件)
- ・ 響灘ビオトープ園内の一部に森林をつくるべき(1件)
- ・ 自然環境アドバイザー制度の義務化の要望(1件)



山田緑地



響灘ビオトープ



多自然型川づくりの例
(撥川)

Ⅱ 市民意見募集(主な意見)

オ 基本目標5に関する意見(計6件)

- 「市全体を対象とした環境調査のあり方の検討」や「市民参加による曾根干潟の底生生物調査の手法の講習会の開催要望」など、自然環境調査のあり方に関する意見(4件)
- 北九州ジオパーク構想の推進に関する意見(2件)



ベッコウトンボ頭数調査の様子
(響灘ビオトープ)



NPO団体によるジオツアー

⑤ 第4部に関する意見(計2件)

- 数値目標の設定に対する賛意(1件)
- 数値目標と関連した努力目標の設定検討要望(1件)

Ⅱ 市民意見募集（意見への対応）

（1）追加・修正

○戦略全般に関する意見

- ・ 「本市の事例を多用して具体的でわかりやすい」、「実効性の高い戦略である」など、第2次戦略（案）への賛意

➡ 本市の自然環境に関する現状値を資料編に記載（資料編12, 13）

○第1部に関する意見

- ・ 「1 本市の生物多様性」における記載の追加・修正に関する意見

➡ 「1 本市の生物多様性」内の「(1)生態系の多様性」の記載の修正
(P1)

- ・ 「3 本市の生物多様性の4つの危機」における記載の追加・修正に関する意見

➡ 「3 本市の生物多様性の4つの危機」内の「第1の危機」、
「第2の危機」、「第3の危機」の記載の修正（P4～6）

Ⅱ 市民意見募集（意見への対応）

○ 第3部に関する意見

- ・ 「その他の市民啓発事業」におけるいのちのたび博物館の取り組みの追加・修正に関する意見

➡ いのちのたび博物館の取り組み内容を追加（P27）

- ・ 「ほたるのふるさとづくり」におけるホタルを通じた国際交流の追加・修正に関する意見

➡ ホタルを通じた国際交流の事例を追加（P54）

- ・ 「曾根干潟の適切な保全の推進」や「曾根干潟が国などから指定、価値付けされている旨の記載の追加・修正」など曾根干潟に関する意見

➡ ・ 曾根干潟が価値付けされている内容を追加（P64）
・ カブトガニの希少性に関する記載の追加（P72）



Ⅱ 市民意見募集（意見への対応）

- 「ビオトープなどの自然共生型地域づくり」における山田緑地の記載追加・修正に関する意見

→ 山田緑地の取り組み内容を修正（P81）

- 「人と野鳥が共存する環境づくり」における山田緑地と響灘ビオトープの記載追加・修正に関する意見

→ 山田緑地と響灘ビオトープの供用事例を追加（P91）



山田緑地のフクロウ



響灘ビオトープのチュウヒ

Ⅲ市議会常任委員会への報告

①報告内容(1月19日 開催)

- 環境審議会で議論いただき、次期戦略案を作成した。
- 市民意見の募集を開始した。

②意見

- ・ 周辺自治体との連携が大事だと考えているが、もう少し具体的な記述ができなかったか。

- 必要に応じて国、県、周辺自治体等との広域的な視野を持って取り組む旨に修正(P19)

IV 意見を踏まえた次期戦略（最終案）の作成

戦略の最終案については、机上の
資料3「（最終案）第2次北九州市生物多様性戦略」
をご覧ください。